



平成30年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年7月10日

上場会社名 北雄ラッキー株式会社
 コード番号 2747 URL <http://www.hokuyu-lucky.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桐生 宇優

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 山川 浩文

TEL 011-558-7000

四半期報告書提出予定日 平成29年7月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第1四半期の業績(平成29年3月1日～平成29年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第1四半期	10,285	4.8	32	22.6	36	18.8	7	532.8
29年2月期第1四半期	10,806	1.8	41	361.4	44	415.6	1	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第1四半期	1.21	
29年2月期第1四半期	0.19	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第1四半期	19,894	4,614	23.2	730.17
29年2月期	19,439	4,682	24.1	740.87

(参考)自己資本 30年2月期第1四半期 4,614百万円 29年2月期 4,682百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		0.00		10.00	10.00
30年2月期					
30年2月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,210	2.2	161	0.6	162	8.2	87	10.7	13.77
通期	42,500	1.3	459	28.5	460	6.0	220	26.4	34.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期1Q	6,323,201 株	29年2月期	6,323,201 株
期末自己株式数	30年2月期1Q	2,936 株	29年2月期	2,936 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期1Q	6,320,265 株	29年2月期1Q	6,321,225 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	7
第1四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（平成29年3月1日～平成29年5月31日）におけるわが国経済は、政府及び日銀による各種政策を背景に雇用・所得環境の改善が続くなかで緩やかな回復基調で推移しているものの、米国新政権の保護主義的な政策動向や北朝鮮などの地政学的リスクの高まりになどによる世界経済に及ぼす影響が懸念される状況となっております。

スーパーマーケット業界におきましては、依然として消費者の低価格・節約志向が続くなか個人消費の本格的回復には至っておらず、小売業を取り巻く環境は業種の垣根を越えた競争が激しさを増し、少子高齢化による市場の縮小、労働力確保の課題や人件費高騰による経営への影響など、楽観できない厳しい状況が続くものと思われま

す。このような状況のなか当社におきましては、消費停滞や競争激化といった状況に対処するため、「商品力」及び「現場力」の強化による確固たる競争力の確立を最大の課題として、「豊かで楽しい食生活提案型スーパーマーケット」の構築に取り組んでまいりました。

現場においては、お客様のニーズを的確に汲取る「マーケティング力」を強化し、お客様が求める商品、サービス及び情報を提供することが、お客様の満足度の向上に繋がり、当社の「商品力」の強化にも繋がるものとして努めてまいりました。商品政策では、52週重点商品の拡販に加えて、健康と安心を提供するナチュラルラッキー商品及びおいしさを提供するテイスティラッキー商品を柱とするラッキー100カテゴリー（強化カテゴリー）の構築により、北海道No.1の商品力の確立に努めてまいりました。

当第1四半期累計期間におきましては、3月より実施した新ポイントカード「コジカ」のカードキャンペーン及び土曜日販促強化の効果に加え、彼岸商材が好調であったこともあり、順調な滑り出しとなりました。比較的天候に恵まれたGW期間は、5日が金曜日となり子供の日の需要が不調であった以外は、焼肉関連や行楽商材などが順調に推移いたしました。4月以降は平年の気温を大きく下回る日も発生し、母の日の商材は計画通りに推移したものの、5月後半の運動会の需要は雨天順延が発生したため不調となり計画を下回りました。

部門別としては、主要3部門が前年実績を下回りました。その主な要因は、生鮮部門では野菜、果物の主力商品相場の低迷やイカなどの原材料不足の影響を受けたこと、グロサリー部門はビール・発泡酒の6月値上げに向けた駆け込み需要が発生したものの、気温の変動に影響され飲料水が苦戦したこと、また衣料部門においても、低温が続いたことにより春夏物が苦戦したことなどによるものであります。売上高は、既存店売上高が前年同期比98.5%となったことに加え、前年に対し店舗建替工事の一時閉店を含む閉店3店舗分の売上減少もあり、前年同四半期と比較し減収となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高102億85百万円（前年同期比95.2%）、経常利益36百万円（前年同期比81.2%）、四半期純利益7百万円（前年同期比632.8%）となりました。

当第1四半期累計期間における店舗の状況は、新設店舗及び閉鎖店舗は無く、改装店舗として平成29年4月に「ラッキー清田店」、同年5月に「シティ美幌店」の改装を実施しております。

平成29年5月31日現在の店舗数は、33店舗であります。

なお、店舗建替工事のため一時閉店していた旧「ラッキー西野2号店」は、平成29年6月19日に「ラッキーマート西野店」として新装開店しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比較し4億54百万円増加し198億94百万円となりました。

その主な要因は、未収入金が1億69百万円減少したものの、コジカカードでの決済を開始し現金による精算から電子マネーによる精算にシフトしたため売掛金が3億92百万円増加したこと、商品及び製品が1億30百万円増加したこと、西野店の建替工事により建設仮勘定が1億44百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較し5億21百万円増加し152億79百万円となりました。

その主な要因は、短期借入金が13億87百万円減少したものの、買掛金が4億26百万円増加したこと、長期借入金(1年内返済予定を含む)が10億81百万円増加したこと、当期から運用を開始したコジカカードに対する現金のチャージ(入金)が発生していることから預り金が4億73百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較し67百万円減少し46億14百万円となりました。

その要因は、四半期純利益を7百万円計上したものの、株主配当による減少が63百万円、その他有価証券評価差額金の減少が12百万円であったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年4月7日の「平成29年2月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,630,643	1,671,740
売掛金	482,137	875,062
商品及び製品	1,756,474	1,886,673
原材料及び貯蔵品	89,375	88,290
前払費用	109,085	114,381
繰延税金資産	67,792	92,510
未収入金	484,165	315,154
その他	47,204	39,506
貸倒引当金	△734	△734
流動資産合計	4,666,144	5,082,585
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,787,218	9,815,049
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,951,797	△6,017,477
建物（純額）	3,835,421	3,797,571
構築物	652,169	652,169
減価償却累計額及び減損損失累計額	△495,978	△502,159
構築物（純額）	156,191	150,009
機械及び装置	610	610
減価償却累計額	△360	△372
機械及び装置（純額）	249	237
車両運搬具	3,091	3,091
減価償却累計額	△2,945	△2,964
車両運搬具（純額）	145	127
工具、器具及び備品	461,458	468,318
減価償却累計額及び減損損失累計額	△369,216	△378,723
工具、器具及び備品（純額）	92,242	89,595
土地	7,219,516	7,219,516
リース資産	1,614,481	1,505,113
減価償却累計額及び減損損失累計額	△986,710	△924,342
リース資産（純額）	627,771	580,770
建設仮勘定	162	145,152
有形固定資産合計	11,931,700	11,982,981
無形固定資産		
ソフトウェア	29,081	46,240
電話加入権	18,228	18,228
無形固定資産合計	47,310	64,469
投資その他の資産		
投資有価証券	253,379	241,920
出資金	579	589
長期前払費用	91,584	89,738
繰延税金資産	334,072	335,732
差入保証金	2,025,337	2,006,738
保険積立金	77,341	78,345
投資その他の資産合計	2,782,295	2,753,065
固定資産合計	14,761,306	14,800,515

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成29年5月31日)
繰延資産		
社債発行費	12,362	11,100
繰延資産合計	12,362	11,100
資産合計	19,439,813	19,894,201
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,605,631	3,031,779
1年内償還予定の社債	410,000	380,000
短期借入金	4,537,023	3,150,000
1年内返済予定の長期借入金	1,306,948	1,522,744
リース債務	278,666	273,321
未払金	419,885	321,245
未払費用	272,657	320,397
未払法人税等	95,727	50,221
未払消費税等	110,659	115,086
前受金	20,312	21,096
預り金	131,203	605,051
賞与引当金	110,519	216,007
ポイント引当金	35,416	26,474
流動負債合計	10,334,650	10,033,425
固定負債		
社債	550,000	550,000
長期借入金	2,086,585	2,952,554
リース債務	429,409	392,026
退職給付引当金	893,059	884,906
役員退職慰労引当金	100,075	102,933
長期預り保証金	309,453	309,094
資産除去債務	48,024	48,204
その他	6,057	6,169
固定負債合計	4,422,665	5,245,889
負債合計	14,757,315	15,279,314

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成29年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金		
資本準備金	161,000	161,000
その他資本剰余金	190,215	190,215
資本剰余金合計	351,215	351,215
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	2,465,000	2,465,000
繰越利益剰余金	1,156,006	1,100,458
利益剰余金合計	3,621,006	3,565,458
自己株式	△1,595	△1,595
株主資本合計	4,612,434	4,556,885
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	70,063	58,001
評価・換算差額等合計	70,063	58,001
純資産合計	4,682,497	4,614,886
負債純資産合計	19,439,813	19,894,201

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
売上高	10,806,603	10,285,710
売上原価	8,138,218	7,733,884
売上総利益	2,668,384	2,551,825
営業収入		
不動産賃貸収入	70,482	69,742
運送収入	225,520	232,823
営業収入合計	296,003	302,565
営業総利益	2,964,388	2,854,391
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	126,264	121,391
配送費	198,743	191,655
販売手数料	196,287	128,471
給料及び手当	485,218	477,871
賞与引当金繰入額	89,240	105,488
退職給付費用	29,705	28,889
役員退職慰労引当金繰入額	2,173	2,858
雑給	642,241	610,539
水道光熱費	202,628	204,297
減価償却費	156,915	145,062
地代家賃	244,271	223,852
その他	548,810	581,581
販売費及び一般管理費合計	2,922,500	2,821,961
営業利益	41,887	32,430
営業外収益		
受取利息	3,888	3,684
受取配当金	3,937	4,054
受取事務手数料	4,996	4,688
雑収入	10,786	7,984
営業外収益合計	23,608	20,412
営業外費用		
支払利息	19,345	15,026
社債発行費償却	1,261	1,261
雑損失	460	495
営業外費用合計	21,067	16,783
経常利益	44,429	36,058
特別損失		
減損損失	—	20,377
固定資産除売却損	15,359	1,185
特別損失合計	15,359	21,563
税引前四半期純利益	29,070	14,495
法人税、住民税及び事業税	8,802	33,821
法人税等調整額	19,057	△26,980
法人税等合計	27,860	6,841
四半期純利益	1,209	7,653

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。